

1. 題材名

情景を想像して歌おう

教材名 「スキーの歌」

2. 題材(教材)について

「スキーの歌」は昭和 7 年、「新訂尋常小学唱歌(六)」に掲載された 80 年ほど前の曲である。昭和 52 年の学習指導要領改訂で歌唱共通教材に指定された。広がりを感じさせる歌詞と躍動感あふれる旋律が一体となって、生き生きとした曲想が感じられる曲である。昔から歌い継がれてきた日本の歌曲のよさを知り、人生の愛唱歌のひとつになればと思う。歌詞の言葉にこめられているニュアンスを感じ取り、情景を想像させたい。冒頭の部分は歯切れよく、9 小節目からの部分はなめらかに、最後は力強く歌い上げるように強弱記号を示しながら工夫させる。新学習指導要領では A 表現(1)イ「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」にあたる。

3. 題材の目標

情景を想像しながら歌い方を工夫する

4. 本時の学習

(1) 本時の目標

歌詞の内容を理解して、情景を想像しながら歌う

(2) 本時の展開

時配	学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ(◇学習活動における具体的評価規準)
5	1. 今月の歌「エール」を歌う	・発声練習の代わりにのびのびと声を出させる。
1	2. 本時のめあてをつかむ	
	「スキーの歌」の主なせんりつを歌おう	
14	「スキーの歌」の範唱を聴く 3. 歌詞を聴き取る 聴き取った言葉を発表する	・電子情報ボードでところどころ塗りつぶした縦書きの歌詞を表示する ・塗りつぶした部分の歌詞がわかったところを開けていく ・歌詞の言葉にこめられているニュアンスを説明する

15	4. 1番を歌う (時間があつたら、2番3番まで歌う)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子情報ボードで楽譜を提示し、主旋律や息継ぎの部分を確認する。 ・教師との交互唱なども取り入れ、正しい音程で歌えるように何度か練習する。 ・できないところは取り出して練習する
5	5. スキーの映像を見て、歌詞の内容を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・電子情報ボードでスキーの映像を見せる ・歌詞の言葉について、画像に合わせて説明する。
5	6. まとめ 情景を想像しながら歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・1番から3番まで通して歌う。 ・次回は強弱を工夫して表現することを知らせる。 電子情報ボードで強弱記号を示しながら説明する。

(3) 本時の評価

Bと判断される児童の具体例	歌詞の内容を理解して言葉をていねいに歌っている。
Aと判断される児童の具体例	進んで歌詞を理解しようとする態度が見られる。歌詞の内容を理解して言葉をていねいに、表情豊かに歌っている。
Cと判断される児童への支援	少しでもよいところを見つけ、自信がわくようにほめる。